

24. 皮膚腫瘍

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	インターフェロン 療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
							体外照射			凍結 療法	治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1 皮膚科	4	4	状況 ○	○	○	×	×	、早期の診断後、治療法を決定し、積極的に切除や病気の種類により化学療法、放射線療法などを併用し早期に社会復帰できるように貢献しています。	ア http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/sh	掲載あり	掲載あり	掲載なし	
			実績 あり	あり	あり	なし	なし		イ http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/do	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
2 放射線治療科	2	2	状況 ×	×	×	○	×	2007年4月から、常勤の治療専門医が診療を行う独立科に改組し、定位照射、強度変調照射、イメージガイド照射などの高精度放射線治療が可能になりました。また、外科、内科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、整	ア http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/sh	掲載あり	掲載あり	掲載なし	
			実績 なし	なし	なし	あり	なし		イ http://www.ntt-west.co.jp/osaka-hosp/gairai/do	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
3			状況						ア http://				
			実績						イ http://				
4			状況						ア http://				
			実績						イ http://				
5			状況						ア http://				
			実績						イ http://				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がん 悪性黒色腫、など
------------------------------------	---